

# 「第 29 回 武庫川河川敷 お掃除会」 仁川合流点

主催：武庫川流域圏ネットワーク

<http://muko.jimdo.com/>

◆重点1◆「プラごみ、ほか」

◆重点2◆「特定外来生物オオキンケイギク」～裏面参照～

日時：2021年 5月9日(日)

9:30～12:00

降水確率：午前中 50%以上は中止

雨天予備日：5月16日(日)

集合：仁川国際霊園 南の河川敷

- ・阪急「仁川駅」川沿い下流へ、徒歩 20分
- ・阪急バス「仁川口橋」、「田近野」徒歩 5分

仁川駅前 9:10 発が便利

(武庫川ネット のぼり目印)



【© OpenStreetMap contributors】

## ◆ コロナ対策 ◆

体温確認し体調不良の場合は、参加ご遠慮をお願いします

- 持参品：マスク、軍手、長靴歓迎、小スコップ、水筒
- 服装：野外作業に適した長そで・長ズボン・帽子を推奨
- 申込み：「武庫川流域圏ネットワーク事務局」宛  
住所、氏名、Tel 記入 5月8日まで  
mail：[mukogawaken.net@gmail.com](mailto:mukogawaken.net@gmail.com)  
件名＝「お掃除参加」

武庫川流域圏ネットワークは  
「地域環境保全功労者」として  
環境大臣から表彰を受けました  
(2020年7月3日)  
皆さまのご支援に感謝します

次回：2021年10月24日(日)

電話：090-7878-4307 (山本)  
090-1718-2029 (白神)



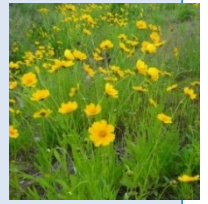
環境学習都市にしのみや・  
パートナーシッププログラム

後援：兵庫県 阪神南県民センター/西宮市/宝塚市

協力：兵庫県 西宮土木事務所/環境都市宝塚推進市民会議/ (株) ヤマサ環境エンジニアリング

# 特定外来植物オオキンケイギクの駆除について

**オオキンケイギクと駆除：**北米原産で5～7月に黄色い花をつける。繁殖力が強く、生態系に悪影響を及ぼす。2006年に特定外来生物に指定。栽培・運搬・販売は禁止。  
2015年1月、法律の緩和措置により、市民による駆除が容易になった。多年草でもあり完全な駆除は困難だが、根からの抜き取りが一番効果的。抜き取ったオオキンケイギクは、密閉・焼却が必要。



## 特定外来生物（外来生物法より）

生態系、ヒトの身体・生命、農林水産業への被害を防止するために、防除の対象と指定された動植物 156 種。（2020年11月2日現在） 武庫川ではオオキンケイギク、ミズヒマワリ、ヌートリア、ブラックバス、ブルーギル、セアカゴケグモ、など。

## 武庫川流域圏ネットのオオキンケイギク問題への取り組み履歴（1～21）

No	年月日	株数/Kg	お掃除会	参加者
1	2014/06/01	観察のみ	8回	130名
2	2015/03/08	駆除初回 3100株	10回	130名
3	2015/06/14	97Kg	11回	100名
4	2015/09/27	1500株	駆除会	50名
5	2015/11/15	150kg	12回	30名
6	2016/03/13	約70袋	13回	160名
7	2016/05/29	2000株/217kg	14回	120名
8	2016/10/29	4500株/89kg	15回	60名
9	2017/03/12	7000株/90kg	16回	80名
10	2017/05/28	240kg	17回	80名
11	2017/11/05	44kg	18回	40名
12	2018/03/11	57kg	19回	35名
13	2018/05/27	153kg	20回	80名
14	2018/10/28	70kg	21回	25名
15	2019/03/17	オオキンケイギク中止	22回	20名
16	2019/05/12	132kg	23回	70名
17	2019/10/27	88kg	24回	50名
18	2020/03/08	コロナ中止	25回	恒例の5月は、
19	2020/09/25	雨天中止	26回	コロナで企画なし
20	2020/10/25	コロナ後、初回46kg	27回	24名
21	2021/03/14	38kg	28回	23名
22	2021/05/09	kg	29回	名

2014年(平成26年)6月2日 月曜日

### 黄色い侵略者 拡散中

西宮市の武庫川河川敷で1日、地元の中学生や企業の有志ら約130人が近年、急速に繁殖している特定外来生物「オオキンケイギク」を観察した。7月にかけて黄色い花を咲かせるが、在来植物の生育場所を奪い、周辺環境を一変させてしまうため、栽培や移動が禁止されているためだ。

環境保護などに取り組む市民らの連携組織「武庫川流域圏ネット」の調査報告書によると、武庫川河川敷では家庭で栽培された種子が飛ぶなどして広がっており、昔々見られたカワラサイゴなどを追いついていく。上田宏・副代表(元)は「いま開花期を迎えているが、川合流点では昨年の倍以上咲いている。放つおとこは来年はさらに増えるだろう。早く対策を取る必要がある」と話していた。(中村尚徳)

#### オオキンケイギク

ワックが呼びかけた参加者は西宮市、西宮市の下流域でこみ拾いをし「川」の合流点で観察した。オオキンケイギクは北米原産。病害に強く、かつては道路や堤防の強化や緑化に使われ、全国的に野生化した。在来の生態系を脅かすため、2006年に特定外来生物に指定されている。

#### 中学生ら130人 武庫川で観察会

物に指定されている。同ネットワックによると、武庫川流域では家庭で栽培された種子が飛ぶなどして広がっており、昔々見られたカワラサイゴなどを追いついていく。上田宏・副代表(元)は「いま開花期を迎えているが、川合流点では昨年の倍以上咲いている。放つおとこは来年はさらに増えるだろう。早く対策を取る必要がある」と話していた。(中村尚徳)

オオキンケイギク(手前)の説明を聞く中学生ら＝西宮市



【武庫川流域圏ネットワーク 第29回お掃除会 2021年5月9日】